



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151(代表番号)

担当者の所属・氏名 消化器内科 高須 綾香

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 高須 綾香

咽頭部生検をされた方を対象とした咽頭癌の診断率に関する

研究

1.研究の対象

2013年8月～2017年8月に当院で咽頭生検をされた方。

2.研究の目的・方法

近年、胃がんや食道がんの検査のために鼻からカメラを入れる経鼻内視鏡検査が発達しております。この経鼻内視鏡検査時に「バルサルバ法」といった耳抜きを行う時のように患者さんに息ごらえをしていただくことで、発見しにくかった部位の咽頭がん診断に有用であることがいわれています。また食道がんになる患者さんは咽頭がんのリスクもあることがわかっています。従来、咽頭がん・喉頭がんといったのど周囲の癌は耳鼻咽喉科の領域でありましたが、この経鼻内視鏡とバルサルバ法を併用することにより消化器内科でも咽頭がんスクリーニングを行えるようになりました。当院でも2015年より食道がんの治療後の患者さんを中心に行うようになりました。そこで、このバルサルバ法導入前後で、咽頭がんの診断率や咽頭生検(がん細胞の有無を調べること)率がどのように変わったかを調べます。

当院のようないわゆる市中病院において、経鼻内視鏡を用いたバルサルバ法が咽頭がんスクリーニングにどれだけ寄与できるかを調べるのが今回の研究の大きな目的です。

方法は、がんの有無を調べるために採取した組織の数を時期ごとや科ごとに調べます。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》カルテ番号、生年月日、病理検体番号、生検部位、既往歴、嗜好歴等